

第4編 切土のり面

1. 切土のり面情報の構成	4-1
1-1 構成	4-1
1-2 作成概要	4-2
2. 切土のり面情報の作成方法	4-3
2-1 作成単位	4-3
2-2 作成タイミング	4-6
2-3 作成者	4-7
2-4 作成内容	4-8
3. 切土のり面情報の作成定義	4-15
3-1 基本定義	4-15
3-1-1 切土のり面番号の付与方法	4-15
3-1-2 保護工番号の付与方法	4-17
3-1-3 排水施設番号の付与方法	4-17
3-2 【削除】基本資料情報	4-18
3-2-1 【削除】基本資料情報の作成	4-18
3-2-2 【削除】添付ファイルの命名規則	4-18
3-2-3 【削除】添付ファイルの作成規則	4-18
3-2-4 【削除】平面図	4-18
3-2-5 【削除】保護工施工図	4-18
3-2-6 【削除】排水こう施工図	4-18
3-2-7 【削除】横断図	4-18
3-2-8 【削除】地質図	4-18
3-2-9 【削除】周辺土地情報図	4-18
3-2-10 【削除】のり面スケッチ	4-18
3-2-11 【削除】のり面完成図	4-18
3-2-12 【削除】対策工状況図	4-18
3-2-13 【削除】切土崩壊状況図	4-18
3-2-14 【削除】動態観測状況図	4-18
3-2-15 【削除】その他資料	4-18
3-3 工事情報	4-19

3-3-1	切土のり面基本情報	4-19
3-3-2	【削除】切土のり面基本情報資料	4-21
3-3-3	のり面諸元情報	4-22
3-3-4	【削除】地形・地質情報	4-24
3-3-5	【削除】周辺土地情報	4-24
3-3-6	【削除】管理重要度情報	4-24
3-3-7	段情報	4-25
3-3-8	【削除】建設時対策検討情報	4-28
3-3-9	保護工情報	4-29
3-3-10	排水施設情報	4-36
3-3-11	【削除】崩壊情報	4-39
3-3-12	【削除】切土崩壊情報資料	4-39
3-3-13	【削除】対策情報	4-39
3-3-14	【削除】工法変更情報	4-39
3-3-15	【削除】動態観測情報	4-39
3-3-16	【削除】動態観測計器情報	4-39
3-3-17	【削除】報告書情報	4-39
3-3-18	切土のり面特殊土工	4-40

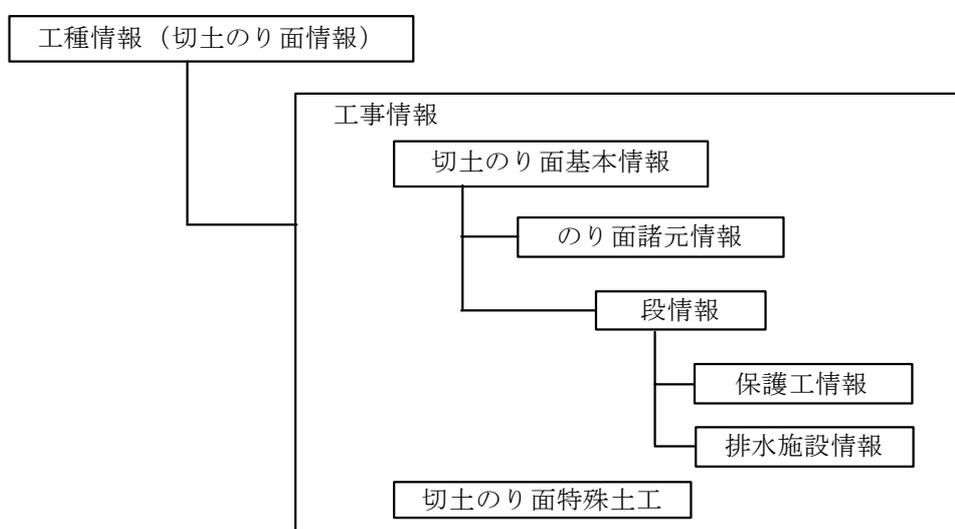
1. 切土のり面情報の構成

1-1 構成

切土のり面情報とは、切土のり面工事の内容を取りまとめたしゅん功書類の1つであると共に、管理部門への引継ぎ資料とするものである。切土のり面情報のデータ活用は、高速道路に隣接する切土のり面部の管理・資産状況を把握する上での基礎データとなるものであり重要な情報である。

切土のり面情報の構成は、工事記録収集システムでデータ入力（作成）を行う各種情報に分類されている「工事情報」から成る。

なお、工事記録収集システムへのデータ入力の際に参照した平面図、保護工施工図、排水こう位置図等は、必要に応じて監督員に提出すること。



第4編 切土のり面

1-2 作成概要

切土のり面情報作成にあたり「のり面諸元情報」、「段情報」「保護工情報」「排水施設情報」の必須情報がある。

基本的なデータ作成区分について下表に一覧表で示す。

また、データ作成の際に基本とする考え方を以降、作成単位、作成タイミング、作成者に説明する。

データ作成区分表

情報項目	作成単位	作成内容	作成タイミング			作成者			
			建設時	補修時		会社	受注者		
				有	無		調査等	土工	舗装
切土のり面基本情報	1のり面毎	高速道路における切土のり面位置を示す。	○	○	○	△	○	○	—
のり面諸元情報	1のり面毎	のり面全体の面積・のり肩延長や注意ランクを示す。	○	○	—	△	△	○	—
段情報	1のり面毎の1段毎	1段(1のり面+1小段)の位置・寸法等を示す。	○	○	—	—	△	○	—
保護工情報	1のり面毎の1段毎の保護工種別毎	1段毎の保護工種別・数量や補修理由を示す。	○	○	—	△	△	○	—
排水施設情報	排水こうの種別毎	1段毎の排水こう種別、数量、ふた有無や補修理由を示す。	○	○	○	—	△	○	—
切土のり面特殊土工	特殊土工種別毎	特殊土工量を示す。	○	○	○	△	○	○	—

※ 記号の凡例 ○：データ作成 △：一部作成 —：作成無
 ※ 補修時の「有」「無」は、のり面形状及びブロック単位に変更が生じた場合を示す。

2. 切土のり面情報の作成方法

2-1 作成単位

対象とする切土のり面は、会社が管理する本線（連絡休憩等施設含む）の管理区域内を対象とする。また、会社が施工後に別機関へ移管等する区域外のものについても作成する。

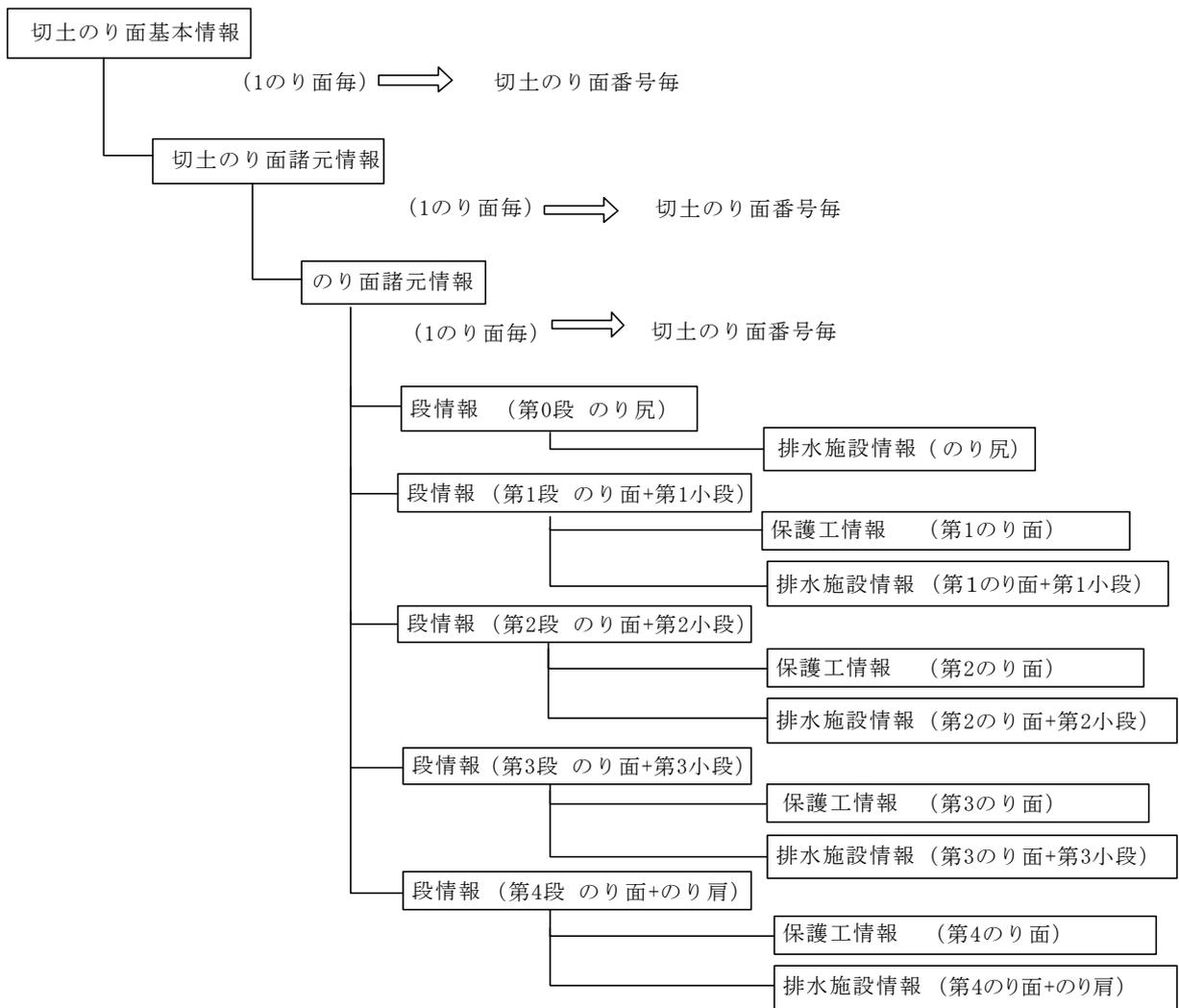
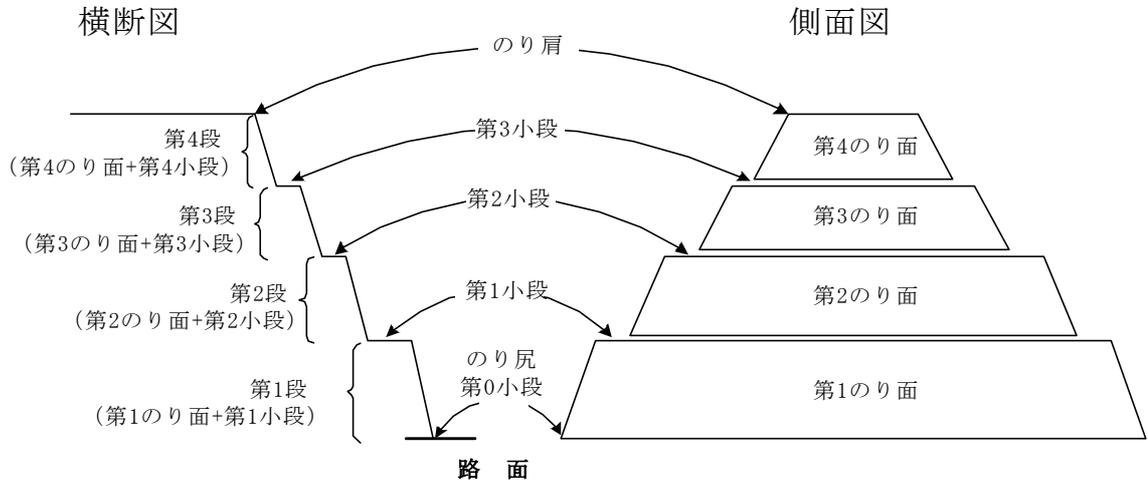
切土のり面の作成単位としては、切土のり面毎に作成する。

但し、段情報、保護工情報、排水施設情報は、切土のり面毎に存在する数だけデータ作成する必要がある。

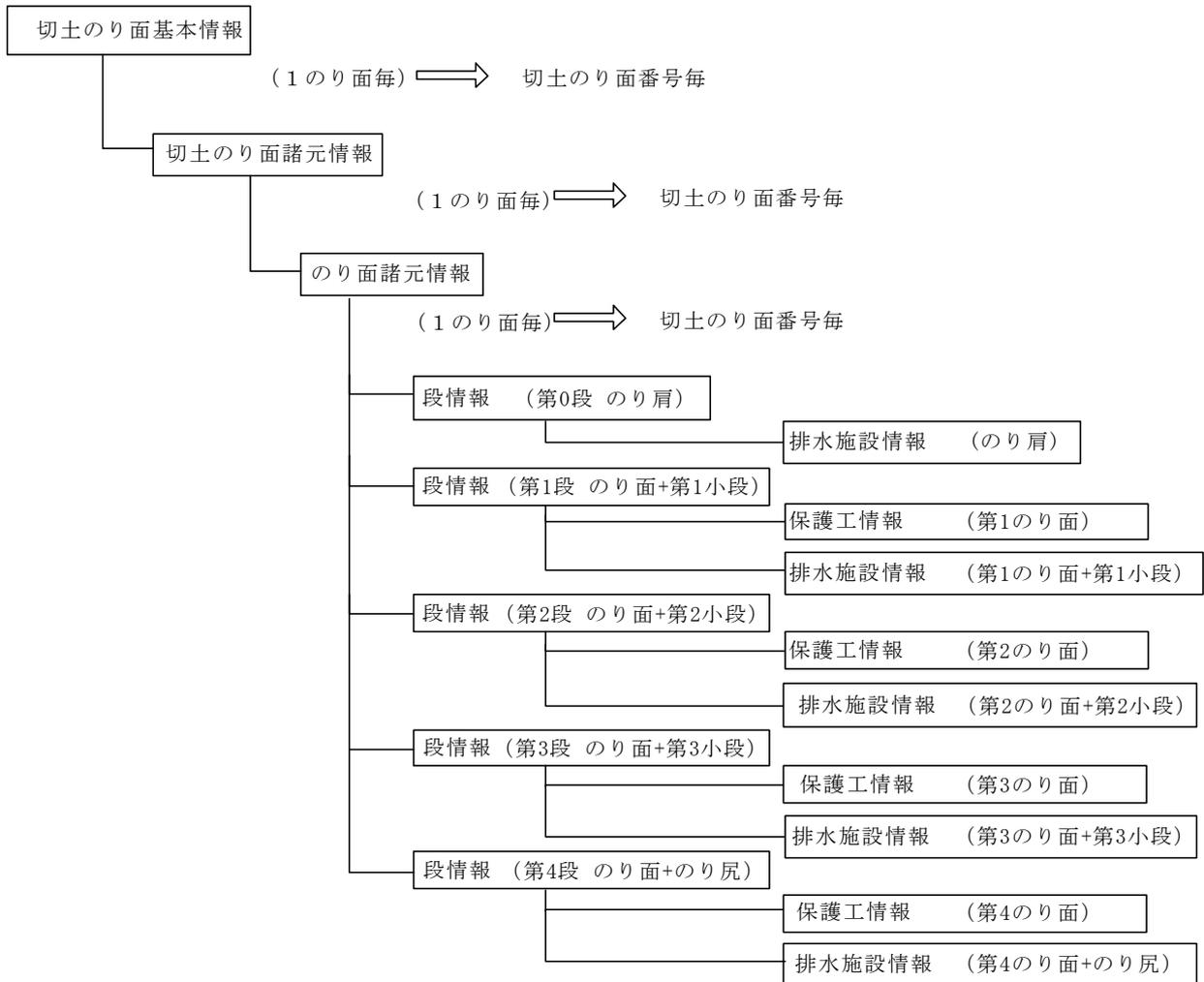
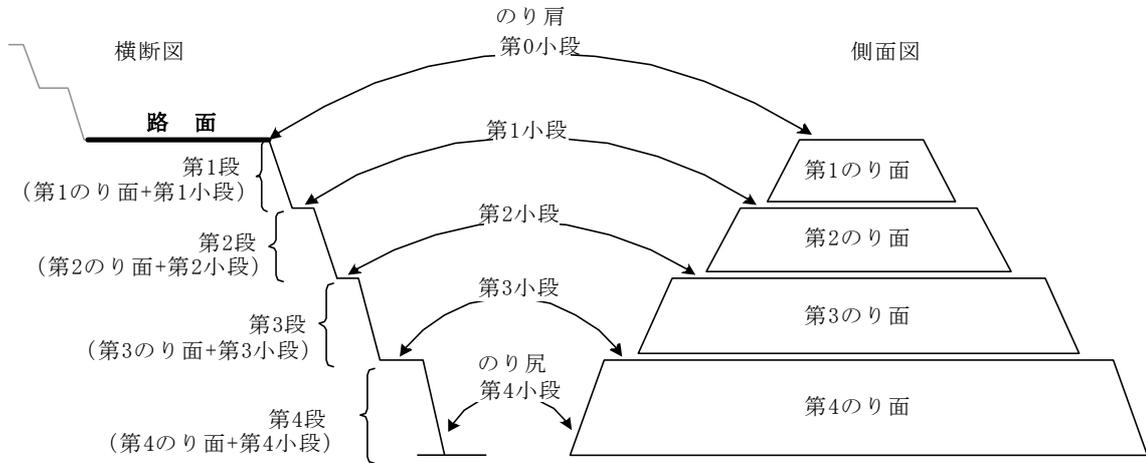
例えば、4段切土のり面の場合、「切土のり面基本情報」「切土のり面諸元情報」が1つに対して段情報を5つ（第0段情報を含む）作成し、その各々の段に対して「保護工情報」「排水施設情報」を存在する数だけ作成することである。

切土のり面が路面から見て上方にある場合と下方にある場合とで考え方が異なるため注意する必要がある。切土のり面（路面の上方にある場合）、切土のり面（路面の下方にある場合）を参考にすること。

切土のり面（路面の上方にある場合）



切土のり面 (路面の下方にある場合)



第4編 切土のり面

2-2 作成タイミング

切土のり面データを作成するタイミングは、「建設時」、「補修時（供用後管理段階）」の2つに大別される。

なお、工事記録収集システムへのデータ入力は、工事等の進捗に併せて適宜実施すること。

(1) 建設時

建設時でのデータ作成は、調査等及び各土工工事の進捗に併せて適宜データ作成を実施し、工事しゅん功時には完成させ提出する。完成データは、舗装工事に土工工事完了の資料として引き継がれる。

舗装工事において排水施設等が変更された場合は、工事の進捗に併せて適宜データの修正を行い、工事しゅん功時には完成させ提出する。

(2) 補修時

補修時（供用管理段階）においては、「のり面形状に変更が生じた場合、（切直しがある場合）」、「のり面形状に変更が無い場合、（切直しが無い場合）」で作成する項目数を把握し、工事の進捗に併せて適宜データを作成して、工事しゅん功時には完成させ提出する。

のり面復旧工事で従来切土のり面形式に変更が生じた場合は、切土のり面諸元情報、のり面諸元情報、保護工情報等についても情報作成を実施すること。

2-3 作成者

建設時におけるデータ作成者は、調査等及び土工工事の進捗に併せて各受注者が主体となる部分をデータ作成し、舗装段階で舗装工事受注者に引渡され、完成した時点で舗装工事分のデータ追加、修正（撤去等）を作成する。

補修時（供用後管理段階）においては、土工工事受注者がデータ作成する。

(1) 建設時

作成者	作成内容
監督員	工事内容とデータ内容・件数の確認をする。
調査等受注者	当該調査等に関するデータを作成する。
土工工事受注者	当該土工工事に関する全てのデータを作成する。
舗装工事受注者	当該舗装工事で実施した土工に関するデータを作成する。（排水施設情報の第0段の路面排水）

(2) 補修時

作成者	作成内容
監督員	工事内容とデータ内容・件数の確認をする。
土工工事受注者	当該土工工事に関する全てのデータを作成する。

第4編 切土のり面

2-4 作成内容

(1) 【削除】

(2) 工事情報

工事記録収集システムに入力する主なデータ項目は、以下のものがある。

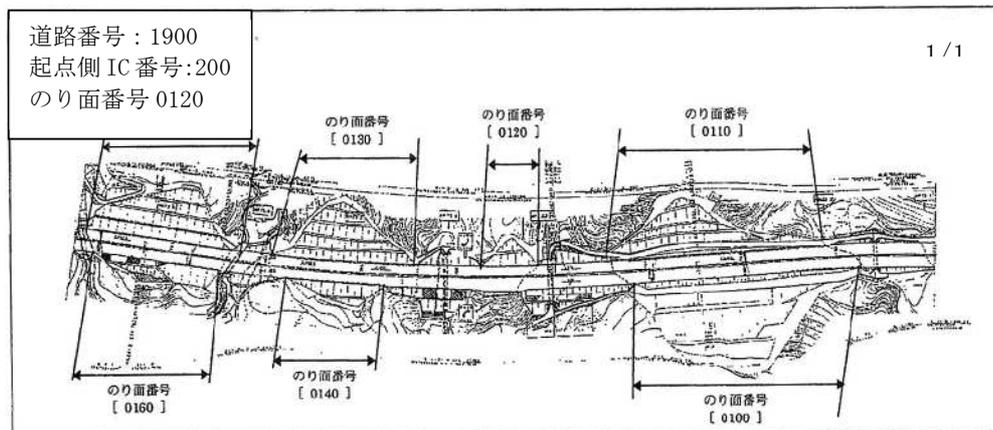
情報名	主な項目
切土のり面基本情報	道路名、IC名、のり面番号、 上下線区分、ルート区分、完成暫定区分、測点、設置箇所、連絡等 施設名、供用年月日 他
のり面諸元情報	のり面延長、のり面総面積、総段数、平均のり面斜長、平均のり面 勾配、地すべり区分
段情報	設計区分、段数、のり面高、小段幅、面積、小段シールの有無
保護工情報	設計区分、保護工種別、単位、数量、製品名、メーカー名、のり面 勾配
排水施設情報	設計区分、排水こう種別、ふた有無、数量、単位、補修理由
切土のり面特殊土工	特殊土工種別、数量

ただし、工事情報の内容確認するために下表の資料について、必要に応じて 監督員に提出すること。

資料名	資料の概要
平面図	切土のり面の位置を示すもので、のり面番号を付与したもの。
保護工施工図	のり面番号と保護工位置を示したもの。
排水こう施工図	のり面番号毎に排水こう番号を付与し、排水こうの位置を示した もの。
横断図	のり面勾配、のり面斜長、直高を示したもの。
のり面完成図	切土のり面の施工完了時の状況を把握できる平面図、横断図、 写真を添付する。
その他資料	当該切土のり面と将来管理する上で必要なもの。

(3) 平面図作成方法

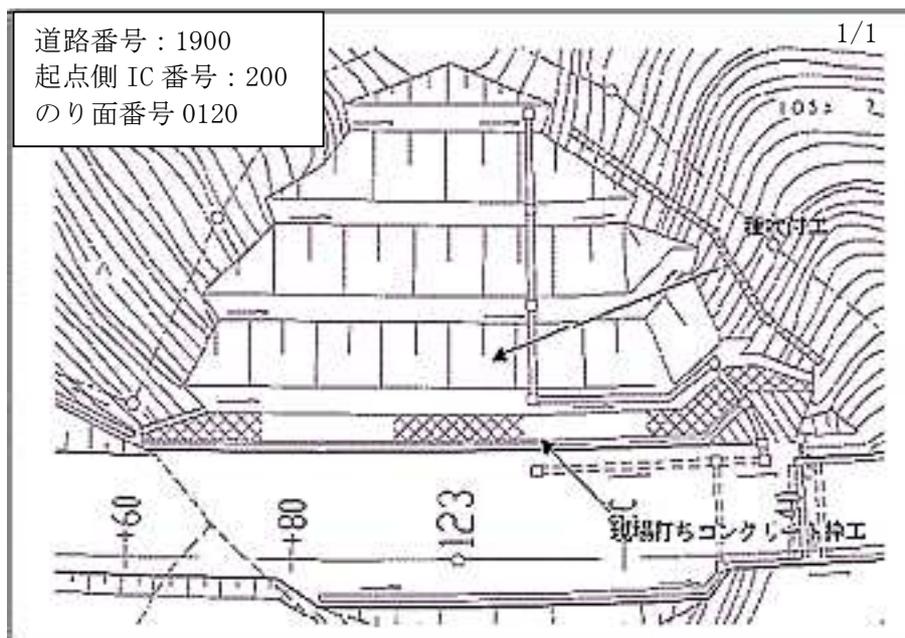
- (a) 1ブロックののり面番号を 0010、0020、0030・・・と付与し、わかりやすく記入する。
- (b) 図面は、A3 の縮小版とする。
- (c) 各図面に、道路番号、起点 IC 番号およびのり面番号を記入する。
- (d) 図面の右上に、各切土番号毎の枚数を「通し番号／全体枚数」で記入する。例) 同一の切土番号が 2 枚の平面図にまたがる場合は、[1/2]，[2/2]とする。



第4編 切土のり面

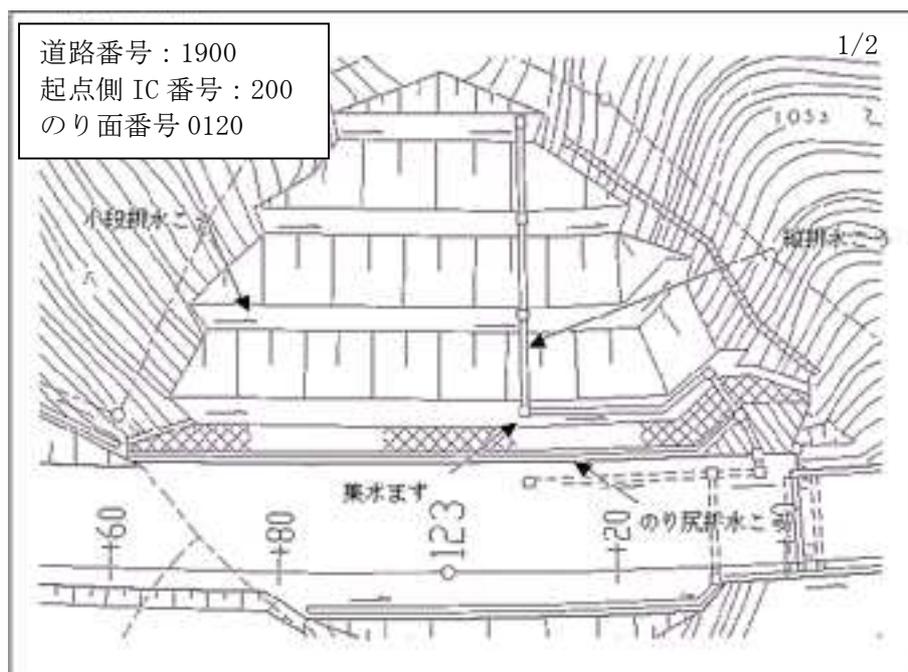
(4) 保護工施工図作成方法

- (a) 該当するのり面番号の平面図を拡大し、のり面番号の保護工施工図を作成する。
- (b) 保護工施工図は、保護工情報 (DOTBL007A) の施工状況および位置が分かるように記入する。
- (c) 図面のサイズは、A3版とする。
- (d) 各図面に、道路番号、起点 IC 番号およびのり面番号を記入する。
- (e) 図面の右上に、各切土のり面番号毎の枚数を「通し番号/全体枚数」で記入する。



(5) 排水こう施工図の作成方法

- (a) 該当するのり面番号の平面図を拡大し、のり面番号の排水こう施工図を作成する。
- (b) 排水こう施工図は、排水施設情報 (DOTBL009A) の排水こう番号の位置が区別できるように記入する。
- (c) 原則として排水ますで区別する。
- (d) 図面は、A3 とする。
- (e) 各図面に、道路番号、起点 IC 番号およびのり面番号を記入する。
- (f) 図面の右上に、各切土のり面番号毎の枚数を「通し番号／全体枚数」で記入する。

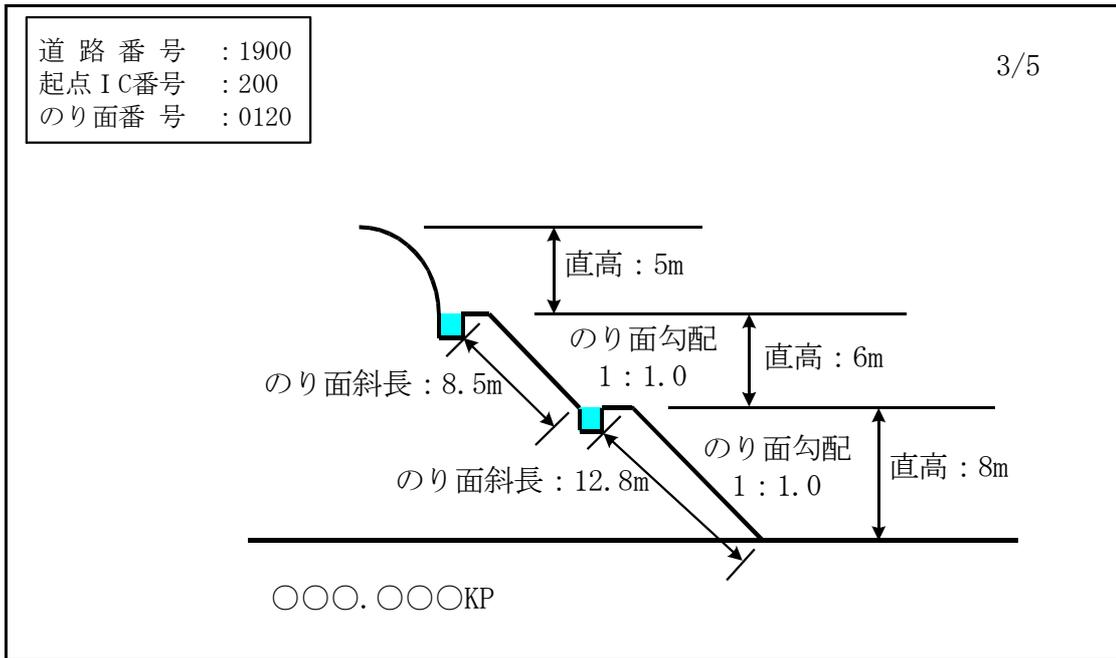


(6) 横断面の作成方法

横断面は、のり面勾配、のり面斜長、直高を明示する。

- (a) 各断面毎に STA・KP・NO を記入する。
- (b) のり直高の最大場所のみ、各段ののり直高を記入する。
- (c) 図面サイズは、A3 版とする。
- (d) 各図面に、道路番号、起点 IC 番号およびのり面番号を記入する。
- (e) 図面の右上に、各切土のり面番号毎の枚数を「通し番号／全体枚数」で記入する。

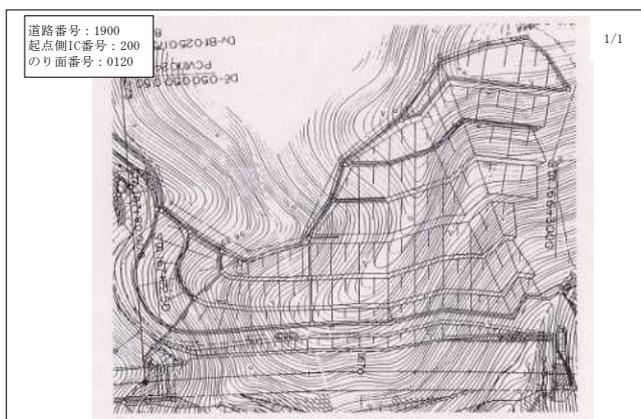
《最大のり直高の記入例》



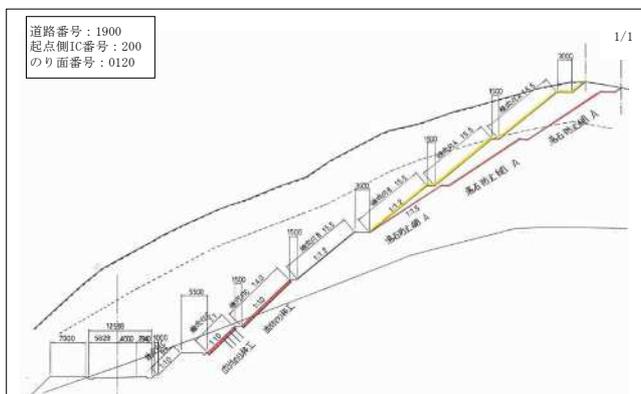
(7) のり面完成図の作成方法

のり面完成図は、切土のり面の施工完了時の状況を把握できるものとし、作成の際は道路番号、起点IC、切土のり面番号を記入し、右上に切土のり面番号毎に「通し番号／全体枚数」を記入する。

- (a) のり面の状況が分かるような写真を添付する。(複数枚数可)
- (b) 完成図を添付する。(赤黄図面)
- (c) のり面の状況が分かる完成写真を貼り付ける。
- (d) 排水系統図がわかる図面を貼り付ける。
- (e) のり面規模に応じて、必要枚数分シートを追加。



完成平面図



完成断面図（赤黄図）



完成写真

第4編 切土のり面

(8) その他資料

(a) 将来切土のり面を管理する上で、必要と思われる資料を添付する。

例) 施工管理要領基準集{植生のり面工施工管理要領}

(ア) のり面調査表

(イ) 【削除】

(ウ) 【削除】

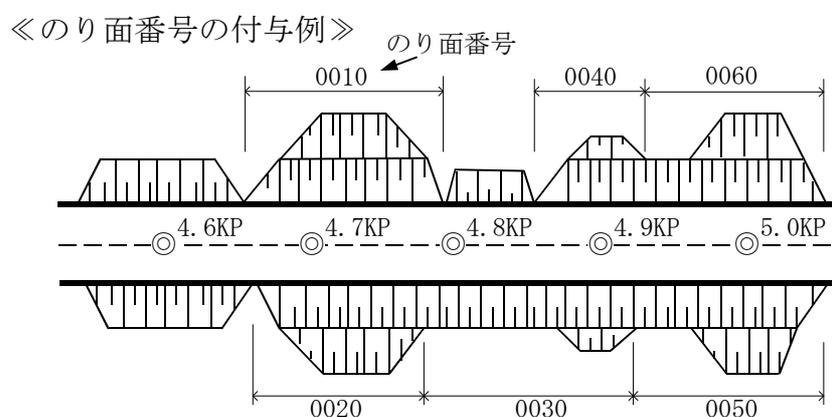
3. 切土のり面情報の作成定義

3-1 基本定義

基本定義では、切土のり面データ作成の基本となるのり面番号・保護工番号・排水施設番号の付与方法について示すものである。

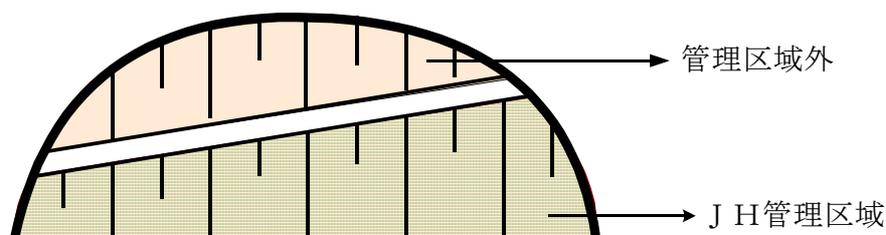
3-1-1 切土のり面番号の付与方法

- (1) 対象とする切土のり面は、本線・IC・SA・PA等に存在するすべての切土のり面であり、IC区間単位で1のり面毎に起点側から順番号を付けるものとする。
- (2) 切土のり面番号は、事務所内で調整し重複しないようにする。
- (3) 切土のり面番号の付け方は、1番目の切土のり面から0010、0020、0030・・・とし下1桁は崩壊等で分割された場合の枝番として利用する。



(4) 切土のり面ブロック定義

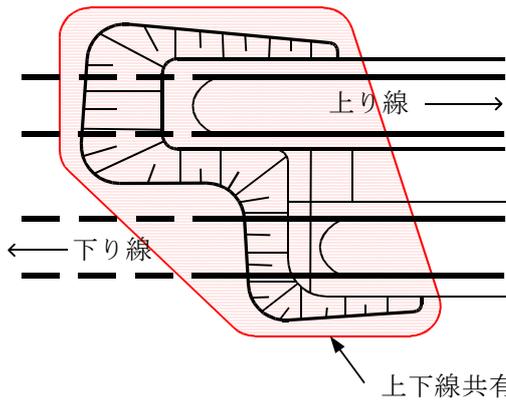
- (a) 原則として、のり面の切盛境から切盛境を1ブロックとする。
- (b) のり面が連続している複合斜面（等高線が小刻みに波打っているのり面）では、のり小段が比較的大きく変化する区間を1ブロックとする。
- (c) 下図のように、会社の管理区域と管理区域外が1山に存在する場合は、1のり面として作成する。



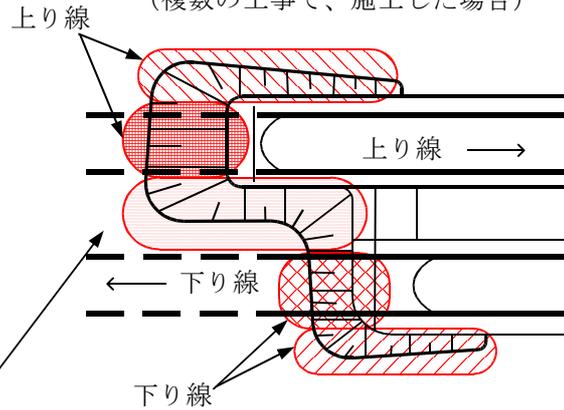
第4編 切土のり面

- (d) IC・JCT, SA・PA・CBは、テーパ端からテーパ端を本線と区別する。
- (e) BS, TBは本線の切土のり面として扱う。
- (f) ランプ部等の複雑な形のり面については、ある程度割り切って1ブロックとし、1IC間でユニーク（重複しない）となるようにのり面番号を付ける。
- (g) トンネル坑口等、上記の定義等に当てはまらない場合は、切土のり面を管理しやすい方法でのり面番号を付与する。

例1) 下図のり面を、1つのり面とする。
(1工事で、施工した場合)



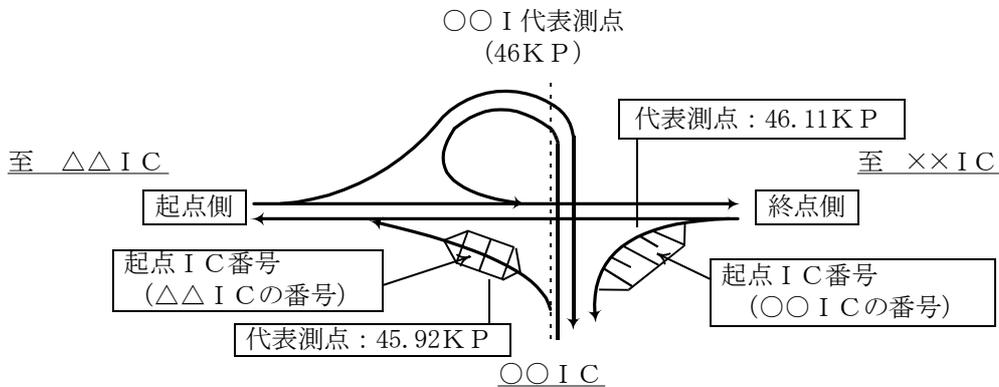
例2) 下図のり面を複数のり面とする。
(複数の工事で、施工した場合)



(h) IC部に切土のり面が存在する場合

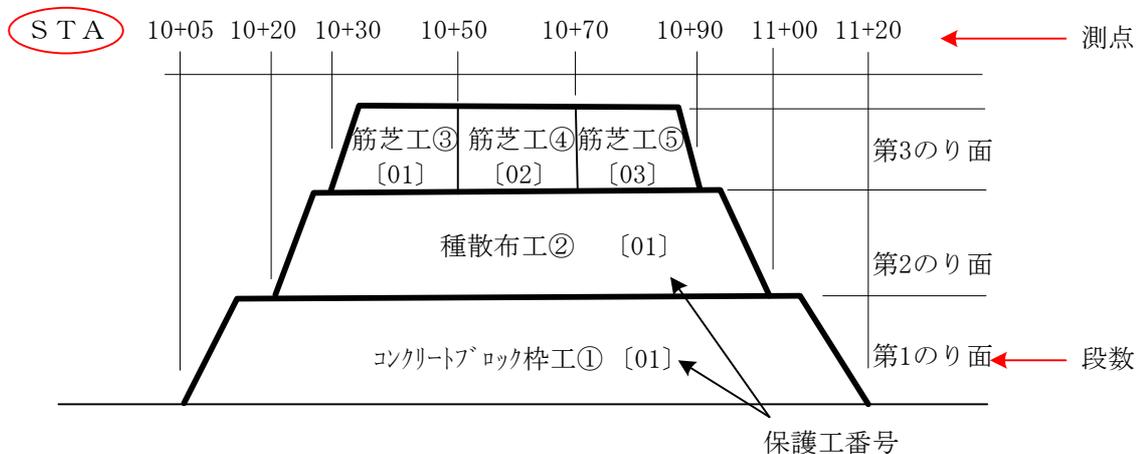
- (ア) 切土のり面代表測点（中心 KP）が、IC 代表測点より起点側の場合は、起点 IC の連番となるのり面番号を付与する。
- (イ) 切土のり面の代表測点（中心 KP）が、IC 代表測点より終点側の場合は、終点側 IC の連番となるのり面番号を付与する。

IC部に切土のり面が存在する場合



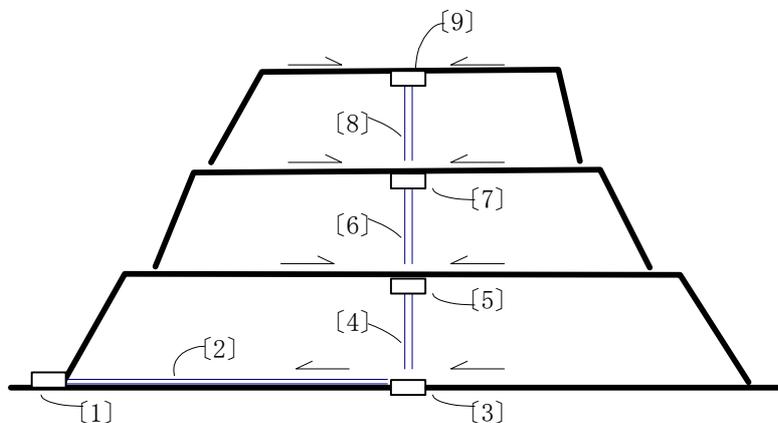
3-1-2 保護工番号の付与方法

- (1) 保護工番号は、各段ののり面で施工した保護工の工種別毎に、2桁までの数字で付与する。
- (2) 保護工番号は、段毎に初期値を1番から付与する。



3-1-3 排水施設番号の付与方法

- (1) 排水施設番号は、各のり面番号毎に3桁までの数字で付与する。
- (2) 排水施設番号は、のり面番号内で全段の排水施設を通番とする。(0段目からの最上段まで通番とする。)



第4編 切土のり面

- 3-2 【削除】 基本資料情報
 - 3-2-1 【削除】 基本資料情報の作成
 - 3-2-2 【削除】 添付ファイルの命名規則
 - 3-2-3 【削除】 添付ファイルの作成規則
 - 3-2-4 【削除】 平面図
 - 3-2-5 【削除】 保護工施工図
 - 3-2-6 【削除】 排水こう施工図
 - 3-2-7 【削除】 横断図
 - 3-2-8 【削除】 地質図
 - 3-2-9 【削除】 周辺土地情報図
 - 3-2-10 【削除】 のり面スケッチ
 - 3-2-11 【削除】 のり面完成図
 - 3-2-12 【削除】 対策工状況図
 - 3-2-13 【削除】 切土崩壊状況図
 - 3-2-14 【削除】 動態観測状況図
 - 3-2-15 【削除】 その他資料

3-3 工事情報

工事で実施した切土のり面に関するデータを工事記録収集システムに入力するものである。

3-3-1 切土のり面基本情報

切土のり面毎の所在地を入力するものである。

(1) 支社局

当該切土のり面を管理する支社局名をコードから選択して入力する。

建設時で管理する支社局名が未定の場合は、建設工事を担当する支社局名を入力する。

(2) 事務所

当該切土のり面を管理する事務所名をコードから選択して入力する。

建設時で管理事務所名が未定な場合は、工事事務所名を入力する。

(3) 道路

当該切土のり面が存在する道路の道路名をコードから選択して入力する。

(4) IC（自）

当該切土のり面が存在する1IC区間の起点側ICをコードから選択して入力する。当該切土のり面がIC部に存在する場合の起点IC番号の考え方は「3-1-1 基本定義 IC部に切土のり面が存在する場合」を参照のこと。

(5) IC（至）

当該切土のり面が存在するIC区間の終点側ICをコードから選択し入力する。

(6) のり面番号

切土のり面毎に、ユニーク（重複しない）となる番号を付与する。

のり面番号の付与方法は、「3-1-1 基本定義 切土のり面番号の付与方法」を参照のこと。

(7) 上下線区分

当該切土のり面が存在する現在の上下線区分を該当するコードから選択して入力する。但し、以下の場合を補足する。

- (a) トンネル坑口やセパレート区間の中分のり面については、「上下線共有」とする。
- (b) 左右ルートが、セパレートする区間における中分については、「上下線共有」とする。
- (c) ランプ部及びSA・PAのり面については、「上下線無関係」とする。

第4編 切土のり面

(8) ルート区分

当該切土のり面が、存在する現在のルート区分を該当するコードから選択して入力する。

(9) 完成暫定区分

当該切土のり面が、存在する道路供用時の完成暫定区分を該当するコードから選択し入力する。

(10) STA・KP・NOの測点作成方法

切土のり面の測点は、当該切土のり面の位置を高速道路の測点で示すものである。測点方法は、本線（車道部）路肩に接するのり尻（のり肩）の端部を示す。

建設時と補修時（供用後管理段階）では、測点の単位に相違があるため、測点の作成方法について以下に示すものである。

(a) 建設時

建設時の測点は、STAを用いるものとするが、KPがわかる場合は、管理_KP及び管理_Noについても作成する。加えて、当該路線のKP換算表を入手し監督員に提出するものとする。

(ア) 建設_STA（自）

1ブロックの起点側の測点を入力する。

(イ) 建設_STA（至）

1ブロックの終点側の測点を入力する。

(ウ) 建設_ランプ

当該切土のり面が存在するランプ名称をA, B, C, D……で入力する。

(エ) 建設_No（自）

当該切土のり面が存在するランプの起点側の測点を入力する。

(オ) 建設_No（至）

当該切土のり面が存在するランプの終点側の測点を入力する。

(b) 補修時（供用後管理段階）

補修時の測点は、KPを用いるものとする。

(ア) 管理_KP（自）

切土のり面の起点側の測点を入力する。

(イ) 管理_KP（至）

切土のり面の終点側の測点を入力する。

(ウ) 管理_ランプ

当該切土のり面が存在するランプ名称をA, B, C, D……で入力する。

(エ) 管理_No（自）

当該切土のり面が存在するランプの起点側の測点を入力する。

(オ) 管理_No (至)

当該切土のり面が存在するランプの終点側の測点を入力する。

(11) 【削除】

(12) 【削除】

(13) 設置箇所

当該切土のり面が、存在する箇所区分をコードから選択し入力する。(本線、IC、SA等)

(14) 連絡等施設

当該切土のり面が、IC・JCTに存在する場合のIC・JCT番号をコードから選択し入力する。

(15) 休憩施設

当該切土のり面が、SA・PA・BS・CBに存在する場合の休憩施設等番号をコードから選択し入力する。

(16) 供用年月日

その構造物が実際に使用開始となる年月日を入力する。

建設時において予定日を入力する。未定の場合は、未入力とする。

3-3-2 【削除】切土のり面基本情報資料

第4編 切土のり面

3-3-3 のり面諸元情報

各のり面全体に関する諸元データを入力するものである。

(1) 【削除】

(2) 【削除】

(3) 【削除】

(4) 【削除】

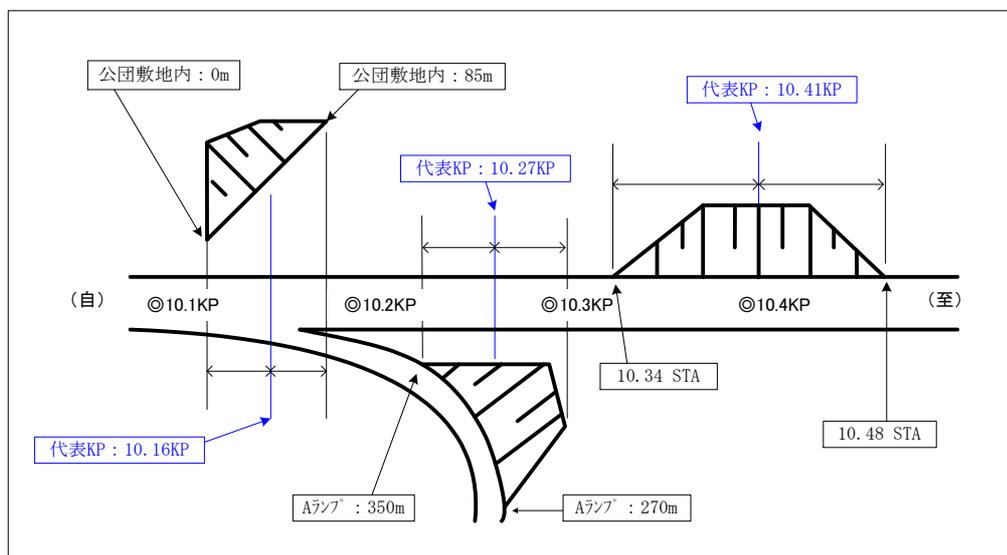
(5) 【削除】

(6) 代表 STA

1 ブロックの切土のり面（原則として、切盛境～切盛境）の起点側と終点側の間地点（STA）を入力する。

(a) 本線に隣接する切土のり面については、のり面番号で区切った切盛境の測点の中心測点をとる。

(b) IC 等のランプ部に隣接する切土のり面については、下図のように、ランプ測点とは関係なく、本線隣接の切土としてみたときの中心測点をとる。



(7) 代表 KP

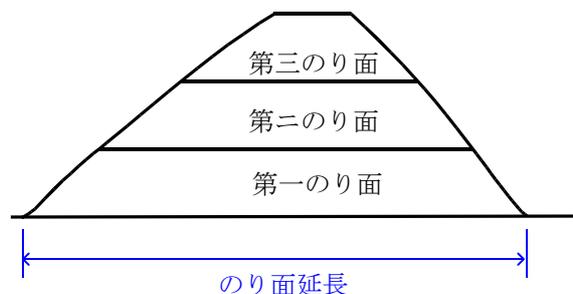
1 ブロックの切土のり面（原則として、切盛境～切盛境）の起点側と終点側の間地点（KP）を入力する。

(8) 位置

当該切土のり面の進行方向に対しての位置を該当するコードから選択し入力する。但し、本線・ランプ部に隣接しない場合には、「区分なし」を選択する。

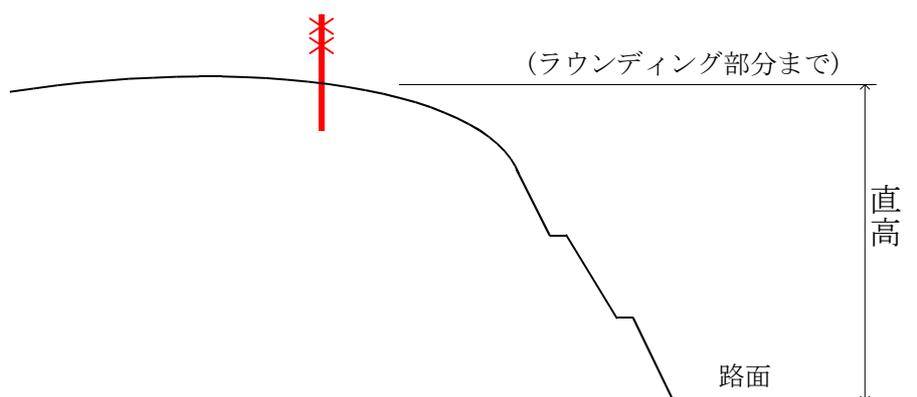
(9) 延長

当該切土のり面の本線に隣接する直近（第1のり面）の延長(m)を入力する。



(10) 直高

当該切土のり面の道路上からの最大直高 (m) を入力する。



(11) 面積

当該切土のり面における小段面積を含まないのり面の総面積(m²) (各段ののり面面積を合計したもの) を入力する。

(12) 段数

当該切土のり面の最上段を入力する。(舗装路面から小段までを第1小段とし順次上方へ山頂までの総段数)

(13) 【削除】

(14) 平均のり面斜長

当該切土のり面ののり面総面積をのり面延長で割った値を入力する。

平均のり面斜長=のり面の総面積÷のり面延長

第4編 切土のり面

(15) 平均のり面勾配

当該切土のり面の各段ののり面勾配の平均を入力する。

平均のり面勾配 = (第1のり面勾配 + 第2のり面勾配 + ...) ÷ のり面段数

(16) 【削除】

(17) 【削除】

(18) 【削除】

(19) 【削除】

(20) 【削除】

(21) 【削除】

(22) 地すべり区分

当該切土のり面の地質について、「地すべり」か「それ以外」をコードより選択し入力する。

(23) 契約番号

当該切土のり面工事の工事契約番号を入力する。

(24) 【削除】

(25) 備考

切土のり面基本情報について関連する情報があれば200文字以内で入力する。

3-3-4 【削除】 地形・地質情報

3-3-5 【削除】 周辺土地情報

3-3-6 【削除】 管理重要度情報

3-3-7 段情報

各段に存在するのり面と小段に関するデータを入力するものである。

なお、「3-3-3. のり面諸元情報 (22) 地すべり区分」でコードより「地すべり」を選択した場合は、以下の項目について「地質_基盤層_〇〇」「地質_移動層_〇〇」の両方をデータ入力する。「それ以外」を選択した場合は、「地質_基盤層_〇〇」に現状をデータ入力する。

(1) 【削除】

(2) 【削除】

(3) 【削除】

(4) 【削除】

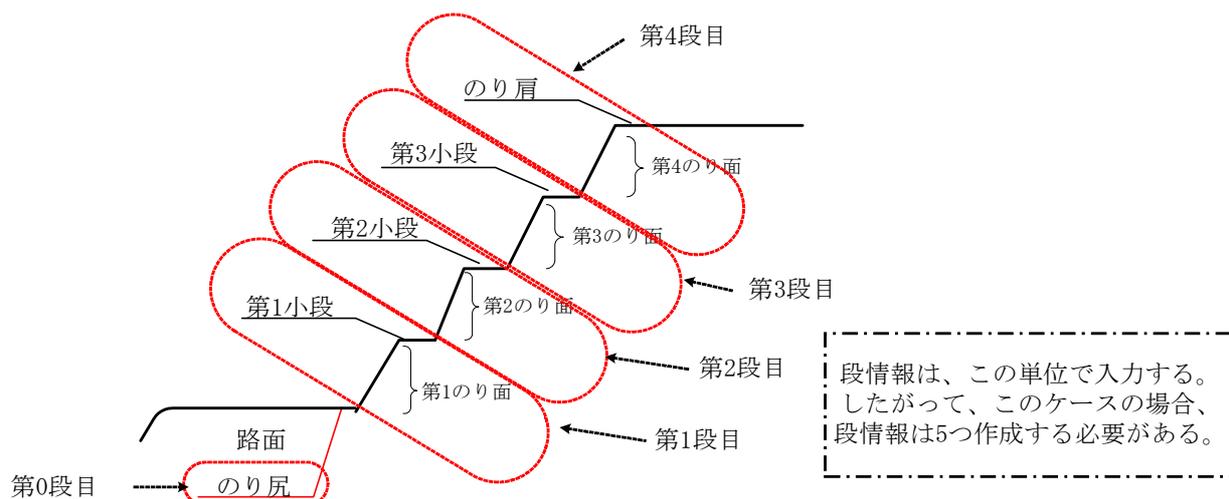
(5) 【削除】

(6) 段

当該段情報で作成する第 n 段 (第 n のり面・第 n 小段) を示す。

なお、のり面および小段の定義は以下のとおりとする。

- (a) 第 1 のり面とは、路面に続くのり面で第 1 小段で区切られるまでをいう。
- (b) のり面中の側道も小段として扱う。
- (c) 第 0 段目 (のり尻) の「段情報」は、「排水施設情報」で路面排水についてデータ入力するために作成する。



第4編 切土のり面

(7) 設計区分

当該データの入力内容が、「当初設計」か「変更設計」かをコードより選択し入力する。
工事による最終形をデータ入力する場合は、「変更設計」を選択すること。

(8) STA・KP・NOの測点作成方法

切土のり面の測点方法は、当該切土のり面の1ブロックの位置を高速道路の測点で示すものである。

建設時と補修時（供用後管理段階）では、測点の単位に相違があるため、測点の作成方法について以下に示すものである。

(a) 建設時

建設時の測点は、STAを用いるものとするが、KPがわかる場合は、管理_KP及び管理_Noについても作成する。加えて、当該路線のKP換算表を入手し監督員に提出するものとする。

(ア) 建設_STA（自）

第n段の起点側の測点を入力する。

(イ) 建設_STA（至）

第n段の終点側の測点を入力する。

(ウ) 建設_ランプ

第n段が存在するランプ名称をA, B, C, D……で入力する。

(エ) 建設_No（自）

第n段が存在するランプの起点側の測点を入力する。

(オ) 建設_No（至）

第n段が存在するランプの終点側の測点を入力する。

(b) 補修時（供用後管理段階）

補修時の測点は、KPを用いるものとする。

(ア) 管理_KP（自）

第n段の起点側の測点を入力する。

(イ) 管理_KP（至）

第n段の終点側の測点を入力する。

(ウ) 管理_ランプ

第n段が存在するランプ名称をA, B, C, D……で入力する。

(エ) 管理_No（自）

第n段が存在するランプの起点側の測点を入力する。

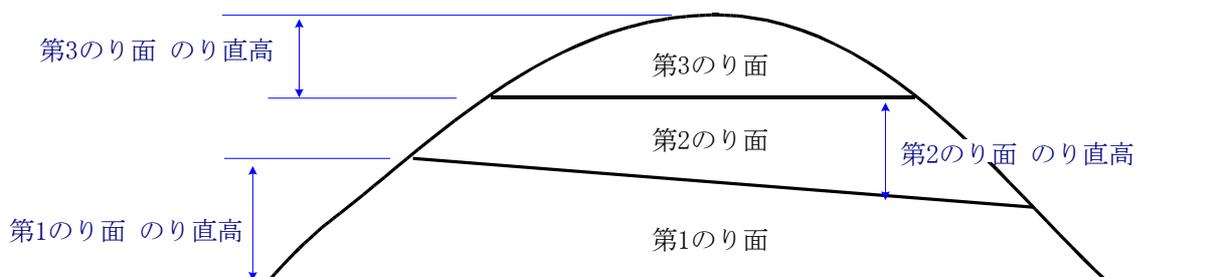
(オ) 管理_No（至）

第n段が存在するランプの終点側の測点を入力する。

(9) のり直高

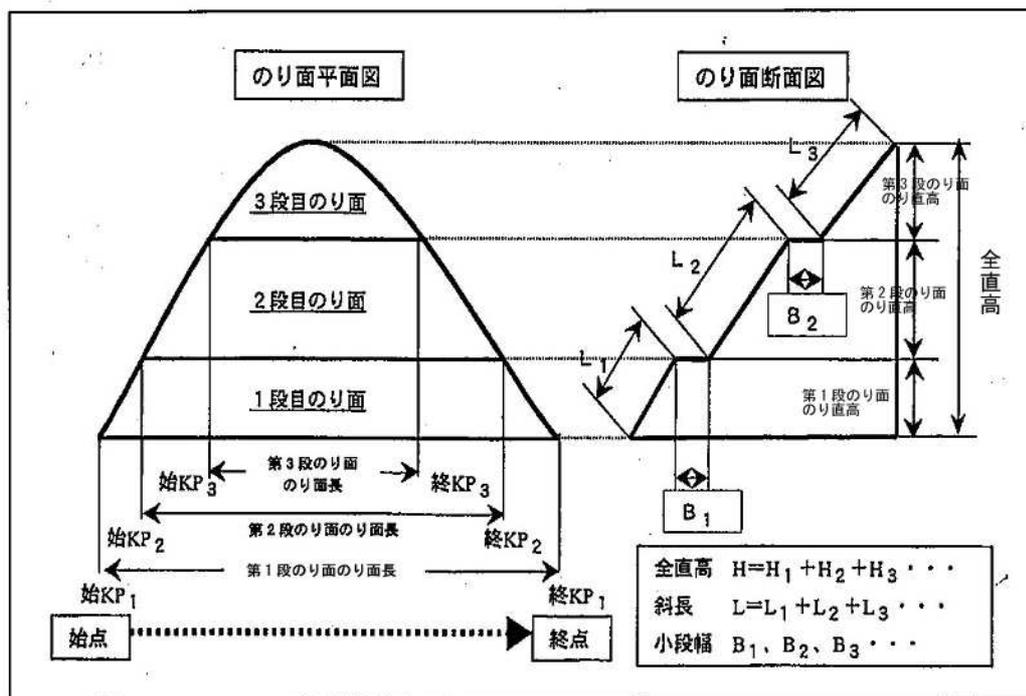
当該切土のり面（第nのり面）ののり面1段毎ののり直高最大値（m）を入力する。
のり直高入力に関しては以下のとおりとする。

- (a) 路面および小段から小段までの高さとする。
- (b) 同一のり面でのり直高が変わる場合は、最大値とする。
- (c) 第0段目は、入力不要とする。



(10) のり面長

当該切土のり面（第nのり面）ののり面1段毎ののり面長（m）を入力する。



(11) 面積

当該切土のり面（第nのり面）ののり面1段毎の面積（m²）を入力する。但し、小段面積を含めないこととする。第0段目は、入力不要とする。

第4編 切土のり面

(12) 小段幅

当該切土のり面（第n小段）の小段毎の最小値の小段幅（m）を入力する。

但し、のり面内の側道は小段として扱い、最上段に小段が無い場合の小段幅は「0m」とする。第0段目の場合は、保護路肩の幅を入力する。

(13) 小段シールの有無

当該切土のり面（第n小段）における小段毎のシール有無をコードより選択し入力する。

第0段目の場合は、保護路肩を対象とする。

(14) 【削除】

(15) 【削除】

(16) 【削除】

(17) 【削除】

(18) 【削除】

(19) 【削除】

(20) 【削除】

(21) 【削除】

3-3-8 【削除】 建設時対策検討情報

3-3-9 保護工情報

各段に存在する保護工に関するデータを入力するものである。

なお、「3-3-3. のり面諸元情報 (22) 地すべり区分」でコードより「地すべり」を選択した場合は、以下の項目について「地質_基盤層_〇〇」「地質_移動層_〇〇」の両方をデータ入力する。「それ以外」を選択した場合は、「地質_基盤層_〇〇」のみデータ入力する。

(1) 【削除】

(2) 【削除】

(3) 【削除】

(4) 【削除】

(5) 【削除】

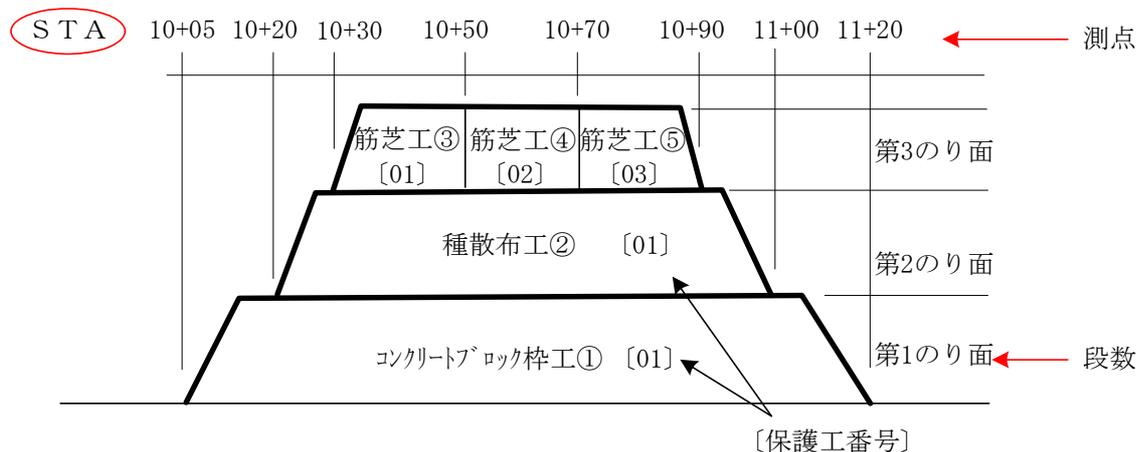
(6) 【削除】

(7) 保護工番号

各段で施工した保護工の工種別毎に、2桁までの数字で入力する。

入力に際しては、下図を参考にすること。

下図のケースの場合、保護工①～⑤のデータを5件入力する。



(8) 設計区分

当該データの入力内容が、「当初設計」か「変更設計」かをコードより選択し入力する。

工事による最終形をデータ入力する場合は、「変更設計」を選択すること。

第4編 切土のり面

(9) STA・KP・NOの測点作成方法

各保護工種別（保護工番号）の端部を測点とする。

建設時と補修時（供用後管理段階）では、測点の単位に相違があるため、測点の作成方法について以下に示すものである。

(a) 建設時

建設時の測点は、STAを用いるものとするが、KPがわかる場合は、管理_KP及び管理_Noについても作成する。加えて、当該路線のKP換算表を入手し監督員に提出するものとする。

(ア) 建設_STA（自）

当該保護工の起点側の測点を入力する。

(イ) 建設_STA（至）

当該保護工の終点側の測点を入力する。

(ウ) 建設_ランプ名

当該保護工が存在するランプ名称をA, B, C, D……で入力する。

(エ) 建設_No（自）

当該保護工が存在するランプの起点側の測点を入力する。

(オ) 建設_No（至）

当該保護工が存在するランプの終点側の測点を入力する。

(b) 補修時（供用後管理段階）

補修時の測点は、KPを用いるものとする。

(ア) 管理_KP（自）

当該保護工の起点側の測点を入力する。

(イ) 管理_KP（至）

当該保護工の終点側の測点を入力する。

(ウ) 管理_ランプ名

当該保護工が存在するランプ名称をA, B, C, D……で入力する。

(エ) 管理_No（自）

当該保護工が存在するランプの起点側の測点を入力する。

(オ) 管理_No（至）

当該保護工が存在するランプの終点側の測点を入力する。

(10) 保護工種別

当該切土のり面における保護工番号毎に、当該保護工種別を該当するコードから選択し入力する。

数量等については、「保護工別・数量単位一覧表」に示す星取りのものを必須とする。

保護工別・数量単位一覧表 (1/3)

NO	区分	保護工種別		保護工	保護工	保護工	保護工	保護工	保護工	保護工
		コード		単位 1	単位 2	単位 3	単位 4	単位 5	単位 6	単位 7
1	植生工	01	筋芝工	面積 m ²						
2		02	張芝工	面積 m ²						
3		03	種散布工	面積 m ²	延長 m	斜長 m				
4		04	種吹付工	面積 m ²	延長 m	斜長 m				
5		05	植生穴工	面積 m ²	延長 m	斜長 m				
6		06	植生袋工	面積 m ²						
7		07	植生マット工	面積 m ²	延長 m	斜長 m				
8		08	植生筋工	面積 m ²						
9		61	植生基材吹付工	面積 m ²	体積 m ³	厚 cm				
9-2		84	のり面保護網工	面積 m ²						
10	09	その他植生工	面積 m ²							
11	構造物によるのり面保護工	13	セメントモルタル吹付工	面積 m ²	厚 cm					
12		14	コンクリート吹付工	面積 m ²	厚 cm					
13		15	プレキャストコンクリート枠工 (中詰・植生)	面積 m ²	直高 m	枠スパン m	横 m (枠断面)	縦 m (枠断面)		
14		16	プレキャストコンクリート枠工 (中詰・栗石)	面積 m ²	直高 m	枠スパン m	横 m (枠断面)	縦 m (枠断面)		
15		17	プレキャストコンクリート枠工 (中詰・コンクリートブロック張等)	面積 m ²	直高 m	枠スパン m	横 m (枠断面)	縦 m (枠断面)		
16		72	コンクリートブロック枠工 (中詰・練詰)	面積 m ²	直高 m	枠スパン m	横 m (枠断面)	縦 m (枠断面)		
17		62	プレキャストコンクリート枠工 (土砂詰・土袋詰)	面積 m ²	直高 m	枠スパン m	横 m (枠断面)	縦 m (枠断面)		
18		18	コンクリート吹付枠工	面積 m ²	直高 m	枠スパン m	横 m (枠断面)	縦 m (枠断面)		
18-2		80	モルタル吹付枠工	面積 m ²	直高 m	枠スパン m	横 m (枠断面)	縦 m (枠断面)		

第4編 切土のり面

保護工別・数量単位一覧表 (2/3)

NO	区分	保護工種別		保護工	保護工	保護工	保護工	保護工	保護工	保護工	保護工
		コード		単位 1	単位 2	単位 3	単位 4	単位 5	単位 6	単位 7	単位 8
19	構造物によるのり面保護工	19	現場打ちコンクリート枠工 (中詰・植生)	面積 m ²	直高 m	枠スパン m	横 m (枠断面)	縦 m (枠断面)			
20		20	現場打ちコンクリート枠工 (中詰・栗石)	面積 m ²	直高 m	枠スパン m	横 m (枠断面)	縦 m (枠断面)			
21		21	現場打ちコンクリート枠工 (中詰・コンクリートブ ロック張等)	面積 m ²	直高 m	枠スパン m	横 m (枠断面)	縦 m (枠断面)			
22		50	鋼製枠	面積 m ²	枠スパン m	横 m (枠断面)	縦 m (枠断面)				
22-2		55	軽量枠工(鋼製)	面積 m ²	枠スパン m	横 m (枠断面)	縦 m (枠断面)				
22-3		58	軽量枠工(プラスチック)	面積 m ²	枠スパン m	横 m (枠断面)	縦 m (枠断面)				
23		63	切土補強土工	面積 m ²	延長 m	本数	ピッチ m	長さ m	打設角 (度)		
24		10	コンクリート張工	面積 m ²	延長 m	厚 cm	高さ m	斜長 m			
25		11	コンクリートブロック張工	面積 m ²	控 cm	高さ m	奥行き m				
26		22	コンクリートブロック積工	面積 m ²	控 cm	高さ m	奥行き m				
26-2		81	大型コンクリートブロック積 工	面積 m ²	控 cm	高さ m	奥行き m				
27		26	もたれ擁壁工	面積 m ²	延長 m	高さ m	奥行き m				
28		25	重力式コンクリート擁壁工	延長 m	直高 m						
29		27	井桁擁壁工	延長 m	直高 m						
30		46	逆T擁壁	延長 m	直高 m						
30-2		82	L型擁壁	延長 m	直高 m						
30-3		83	逆L型擁壁	延長 m	直高 m						
31		41	のり面アンカー工	延長 m	本数	設計アンカ 力 kN/m	定着長 m	受圧板種 類	ピッチ m	長さ m	打設角 (度)
32		12	石張工	面積 m ²	延長 m	斜長 m					
33		23	石積工	延長 m	直高 m	面積 m ²					
34		42	じゃかご工	延長 m	径 cm	網目 cm	本数	長さ m			
35		43	ふとんかご工	幅 m	長さ m	厚 m	網目 cm	枚数	延長 m	最大高さ m	
36		44	編柵工	延長 m							
36-2		85	コンクリートシール工	面積 m ²	厚 cm						
37		35	明暗渠工	延長 m	径 cm						
38		24	その他の構造物による のり面保護工	面積 m ²	延長 m	直高 m					

保護工別・数量単位一覧表 (3/3)

NO	区分	保護工種別		保護工 単位 1	保護工 単位 2	保護工 単位 3	保護工 単位 4	保護工 単位 5	保護工 単位 6	保護工 単位 7	保護工 単位 8
		コード									
39	落石雪防止柵工	37	落石防止柵工	延長 m	高さ m						
40		38	落石防止網工	面積 m ²	延長 m						
41		64	ネット工	面積 m ²							
42		40	その他の落石防止工	延長 m							
43		39	なだれ防止工	延長 m							
44	抑制工	65	水路工	面積 m ²	延長 m						
45		66	浸透防止工(充填)	面積 m ²							
46		67	浸透防止工(被覆)	面積 m ²							
47		68	浸透防止工(その他)	面積 m ²							
48		34	地下排水溝工	面積 m ²	延長 m	径 cm	本数	長さ (m/本)			
49		32	排水ボーリング工	延長 m	本数	長さ (m/本)	深さ m	水位低下高 m			
50		33	集水井工	延長 m	径 m	本数	深さ m	水位低下高 m			
51		69	排水トンネル	面積 m ²	延長 m	深さ m	水位低下高 m				
52		70	排土工	面積 m ²	土量 m ³						
53		30	押え盛土工	面積 m ²	土量 m ³						
54		36	その他の排水工	面積 m ²	延長 m	径 cm	本数	長さ (m/本)			
55		31	その他の抑制工	面積 m ²	延長 m						
56		抑止工	73	杭工	肉厚 mm	径 mm	杭間隔 m	杭長 m			
57	28		鋼管杭工	延長 m	肉厚 mm	径 mm	杭間隔 m	杭長 m			
58	29		深礎(杭)工	延長 m	径 cm	本数					
59	41		のり面アンカー工	延長 m	本数	設計アンカー力 kN/m	定着長 m	受圧板種類	ピッチ m	長さ m	打設角(度)
60	74		その他の抑止工	延長 m	本数	径 cm	ピッチ m	長さ m			
61	その他	45	無処理	面積 m ²							
62		71	軽量盛土工	面積 m ²	土量 m ³						
63		60	コンクリートマット工	面積 m ²	延長 m	斜長 m					
64		98	不明								
65		99	その他								

(11) 数量

保護工の施工数量は、「単位コード」に合わせた数値で入力する。(最大8つまで)

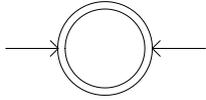
(12) 単位

保護工の施工単位をコードから選択し入力する。(最大8つまで)

第4編 切土のり面

(13) 標準杭径

当該保護工に施工された基礎が杭型式の場合に標準の杭径 (mm) を入力する。杭径が2種類以上ある場合、全体比で一番多く使用されているものを入力する。



(14) 最大杭径

当該保護工に施工された基礎が杭型式の場合に最大の杭径 (mm) を入力する。

(15) 平均杭長

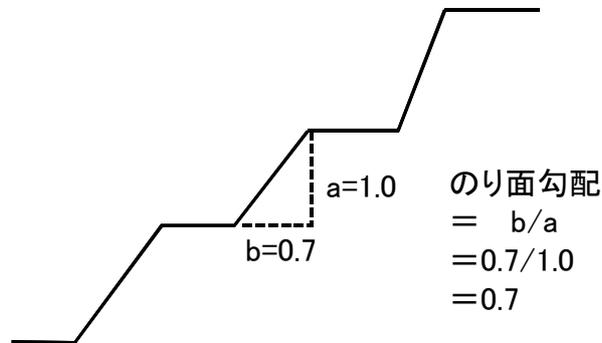
当該保護工に施工された基礎が杭型式の場合に平均の杭長 (m) を入力する。

(16) 杭本数

当該保護工に施工された基礎が杭型式の場合に杭の本数を入力する。

(17) 勾配

保護工の施工されているのり面 (段毎) の平均勾配を入力する。
入力に当たっては下図を参考にする。



(18) 【削除】

(19) 製品名

特殊な保護工を行った場合のみ製品名を20文字以内で入力する。

(20) 製造メーカー

特殊な保護工を行った場合のみ製造メーカーを20文字以内で入力する。

(21) 【削除】

(22) 【削除】

(23) 【削除】

(24) 【削除】

(25) 【削除】

(26) 【削除】

(27) 【削除】

(28) 施工年月日

当該保護工施工作業を完了した年月日を入力する。

(29) 契約番号

当該切土のり面工事の工事契約番号を入力する。

第4編 切土のり面

3-3-10 排水施設情報

各段に存在する排水施設に関するデータを入力するものである。

(1) 【削除】

(2) 【削除】

(3) 【削除】

(4) 【削除】

(5) 【削除】

(6) 【削除】

(7) 排水施設番号

当該切土のり面番号内に存在する、各小段(第 n 段)・各のり面(第 n 段)の排水施設種別毎に、ユニーク(重複はしない)となる番号を連番で付与する。排水施設番号の付与方法は、「3-1-3 基本定義 排水施設番号の付与方法」を参照のこと。

(8) 設計区分

当該データの入力内容が、「当初設計」か「変更設計」かをコードより選択し入力する。工事による最終形をデータ入力する場合は、「変更設計」を選択すること。

(9) STA・KP・NO の測点作成方法

排水こうの設置端部を起点・終点で示す。縦排水こうが垂直に設置されている場合は(自) (至)に同じ測点を入力する。

建設時と補修時(供用後管理段階)では、測点の単位に相違があるため、測点の作成方法について以下に示すものである。

(a) 建設時

建設時の測点は、STA を用いるものとするが、KP がわかる場合は、管理_KP 及び管理_No についても作成する。加えて、当該路線の KP 換算表を入手し監督員に提出するものとする。

(ア) 建設_STA (自)

当該排水施設の起点側の測点を入力する。

(イ) 建設_STA (至)

当該排水施設の終点側の測点を入力する。

- (ウ) 建設_ランプ
当該排水施設が存在するランプ名称を A, B, C, D……で入力する。
- (エ) 建設_No (自)
当該排水施設が存在するランプの起点側の測点を入力する。
- (オ) 建設_No (至)
当該排水施設が存在するランプの終点側の測点を入力する。

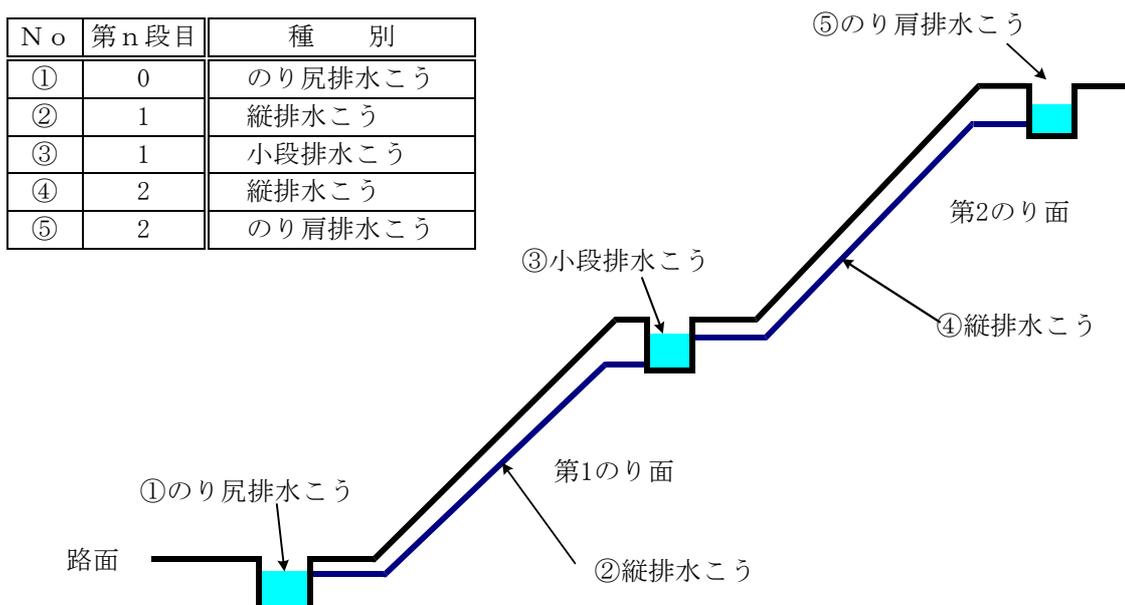
(b) 補修時 (供用後管理段階)

補修時の測点は、KP を用いるものとする。

- (ア) 管理_KP (自)
当該排水施設の起点側の測点を入力する。
- (イ) 管理_KP (至)
当該排水施設の終点側の測点を入力する。
- (ウ) 管理_ランプ
当該排水施設が存在するランプ名称を A, B, C, D……で入力する。
- (エ) 管理_No (自)
当該排水施設が存在するランプの起点側の測点を入力する。
- (オ) 管理_No (至)
当該排水施設が存在するランプの終点側の測点を入力する。

(10) 排水こう種別

当該切土のり面における排水こう種別を該当するコードから選択し入力する。
排水こう種別は下図のとおりである。



第4編 切土のり面

(11) 材質区分

当該排水施設番号における排水こうの材質をコードから選択し入力する。

(12) 記号（契約単価項目名）

該当する排水施設の設計図書に示されている記号を入力する。入力に際し、ふた付きの記号は「^」とする。

記入例) Dc ^ (D) -0.50-0.50-0.60 (F)

誤 例) Type A

(13) ふたの有無

排水施設について、ふたの有無をコードから選択して入力する。

(14) 数量

排水施設の施工数量を単位に合った数値で入力する。

(15) 単位

排水施設の施工単位を該当するコードから選択し入力する。

(16) 補修理由

排水施設の補修時のみ該当するコードから選択して入力する。

建設時は、未入力とする。

(17) 施工年月日

施工作業が完了した年月日を入力する。

(18) 契約番号

当該切土のり面工事の工事契約番号を入力する。

- 3-3-11 【削除】崩壊情報
- 3-3-12 【削除】切土崩壊情報資料
- 3-3-13 【削除】対策情報
- 3-3-14 【削除】工法変更情報
- 3-3-15 【削除】動態観測情報
- 3-3-16 【削除】動態観測計器情報
- 3-3-17 【削除】報告書情報

第4編 切土のり面

3-3-18 切土のり面特殊土工

切土のり面特殊土工とは、切土のり面部で実施された軟弱地盤処理工の施工範囲と数量に関するデータを入力するものである。

(1) 支社局

当該切土のり面を管理する支社局名をコードから選択して入力する。

建設時で管理する支社局名が未定の場合は、建設工事を担当する支社局名を入力する。

(2) 事務所

当該切土のり面特殊土工を管理する事務所名をコードから選択して入力する。

建設時で管理事務所名が未定な場合は、工事事務所名を入力する。

(3) 道路

当該切土のり面特殊土工が存在する道路の道路名をコードから選択して入力する。

(4) IC (自)

当該切土のり面特殊土工が存在する 1IC 区間の起点側 IC をコードから選択して入力する。

(5) 上下線区分

当該切土のり面特殊土工が存在する現在の上下線区分を該当するコードから選択して入力する。

(6) ルート区分

当該切土のり面特殊土工が存在する現在のルート区分を該当するコードから選択して入力する。

(7) 完成暫定区分

当該切土のり面特殊土工が存在する道路供用時の完成暫定区分を該当するコードから選択し入力する。

(8) STA・KP・NO の測点作成方法

切土のり面特殊土工の測点は、当該切土のり面特殊土工の位置を高速道路の測点で示すものである。測点は、同一特殊土工種別の端部を示す。

建設時と補修時（供用後管理段階）では、測点の単位に相違があるため、測点の作成方法について以下に示すものである。

(a) 建設時

建設時の測点は、STA を用いるものとするが、KP がわかる場合は、管理_KP 及び管理_No についても作成する。

(ア) 建設_STA (自)

当該切土のり面特殊土工の起点側の測点を入力する。

(イ) 建設_STA (至)

当該切土のり面特殊土工の終点側の測点を入力する。

(ウ) 建設_ランプ

当該切土のり面特殊土工が存在するランプ名称を A, B, C, D, …… で入力する。

(エ) 建設_No (自)

当該切土のり面特殊土工が存在するランプの起点側の測点を入力する。

(オ) 建設_No (至)

当該切土のり面特殊土工が存在するランプの終点側の測点を入力する。

(b) 補修時 (供用後管理段階)

補修時の測点は、KP を用いるものとする。

(ア) 管理_KP (自)

切土のり面特殊土工の起点側の測点を入力する。

(イ) 管理_KP (至)

切土のり面特殊土工の終点側の測点を入力する。

(ウ) 管理_ランプ

当該切土のり面特殊土工が存在するランプ名称を A, B, C, D, …… で入力する。

(エ) 管理_No (自)

当該切土のり面特殊土工が存在するランプの起点側の測点を入力する。

(オ) 管理_No (至)

当該切土のり面特殊土工が存在するランプの終点側の測点を入力する。

(9) 【削除】

(10) 【削除】

(11) 設置箇所

当該切土のり面特殊土工が、存在する箇所区分をコードから選択し入力する。(本線、IC、SA 等)

(12) 連絡等施設

当該切土のり面特殊土工が、IC・JCT に存在する場合の IC・JCT 番号をコードから選択し入力する。

第4編 切土のり面

(13) 休憩施設

当該切土のり面特殊土工が、SA・PA・BS・CBに存在する場合の休憩施設等番号をコードから選択し入力する。

(14) 供用年月日

当該切土のり面が実際に使用開始となる年月日を入力する。
建設時において予定日を入力する。未定の場合は、未入力とする。

(15) 特殊土工種別

当該切土のり面特殊土工の種別をコードから選択し入力する。

(16) 数量

当該切土のり面特殊土工の数量を単位にあった数値で入力する。

(17) 単位

当該切土のり面特殊土工の単位を該当するコードから選択して入力する。

(18) 契約番号

当該切土のり面工事の工事契約番号を入力する。